

議長定例記者会見／令和8年3月24日（火）

○工藤議長

それでは、まず初めに、第325回定例会の採決結果について御報告いたします。
知事提出議案75件のうち、議案74件を可決・同意・承認し、報告のみが1件でした。
議員発議案については、提出された10件のうち4件を可決し、6件が否決されました。
請願については、1件受理され、不採択となりました。
議員派遣については、国内派遣1件、国外派遣1件が可決されました。
私からは以上です。

○記者

令和8年度当初予算に対する議長の受け止めについてお聞かせください。

○工藤議長

令和8年度の当初予算案は、GX青森による産業集積の取組強化、環境変動に対応した農林水産力強化パッケージの推進、こども・子育て無償化政策の拡充、高齢者の暮らしやすさの向上と介護人財の確保・定着など、随所に、宮下知事の目指す方向性が反映されているものと考えています。
また、財政規律の維持の観点からは、財政調整用基金の取崩額をゼロとする収支均衡の継続や、県債残高を確実に縮減するなど、評価できるものと考えています。

○記者

子育て支援について、新年度に効果が表れることへの期待や、今後の取組に関する御見解があれば、お聞かせください。

○工藤議長

子育て支援につきましては、令和8年度当初予算において様々な施策が盛り込まれているところです。これらの施策については、知事からも鋭意取り組む旨の発言があったところです。予算の執行状況については決算委員会等において議論し、適切に確認してまいります。

○記者

議員定数、選挙区等に関する条例について、これまでの議論の経過をどのように受け止めておられるか、また、県民への周知の在り方について、議長の所感をお聞かせください。

○工藤議長

今般の条例改正は、20年ぶりとなるものであり、本県議会の根幹に関わる重要な改革が形となったものであることから、大きな意義があると考えております。
議員定数等検討委員会の委員の皆様には、本条例の基となった報告書について、1年9か月の長期に

わたり、計13回にのぼる委員会開催を経てとりまとめていただき、改めて敬意を表したいと思います。

県民への周知につきましては、議会としても丁寧な情報発信に努めてまいりたいと考えておりますので、報道機関の皆様におかれましても御協力をお願い申し上げます。

○記者

区割りの見直しに関連して、黒石市をはじめとする市町村議会から改革を求める声がある中での採決となりましたが、議長として全会一致に至らなかったことについて、また、地方議会の課題を指摘する声についてどのように総括されるのか、お聞かせください。

○工藤議長

今回の見直しにつきましては、様々な議論が重ねられ、議会として一定の結論を得たものと受け止めております。

また、市町村議会との関係につきましては、県議会議員との連携が十分でない面もあるのではないかと認識しております。区割りの見直しを契機として、県議会議員が地域の声をより丁寧に受け止め、市町村議会議員の皆様とも連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。

○記者

信頼の強化という観点からでしょうか。

○工藤議長

県議会議員が各選挙区における声をしっかりと受け止め、一般質問等を通じて県政に反映していくことが重要であると考えております。そうした取組を通じて、連携が深まるよう努めてまいりたいと考えております。